荻窪駅周辺まちづくり方針　中間まとめ【概要版】

■背景と目的

●荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する杉並区の中心的な拠点となっています。
●一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のＪＲ地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のＪＲ３駅と比べて都市の芯としての課題を抱えています。
●こうした現状のもと、杉並区が住宅都市としての価値をさらに高めていくため、その潜在能力を十分に活かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進していくことが求められています。

地域発意によるまちの将来像が「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」として、平成27年12月、区に提案されました。

荻窪駅周辺のまちの特長・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「まちづくり方針」を策定します。

荻窪駅周辺まちづくりの流れ

杉並区基本構想（平成24年）

【戦略的・重点的な取組み】
区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺地区については、南北分断の解消と都市機能のさらなる強化を図ることにより、杉並の「顔」としてのまちづくりを積極的に推進します。

《ステップ１》　地域の発意によってまちの将来像の絵姿を描き、共有

平成24年度
○10年後の駅周辺のまちづくりを考える区民意見交換会
○これからの荻窪駅周辺を考えるアイデアコンペ
○荻窪まちづくり懇談会

平成25年度～
○荻窪まちづくり会議
H25. 6　設立
H26. 5　杉並区まちづくり条例に基づく「市街地整備型まちづくり協議会」に認定
H27. 11　「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」取りまとめ

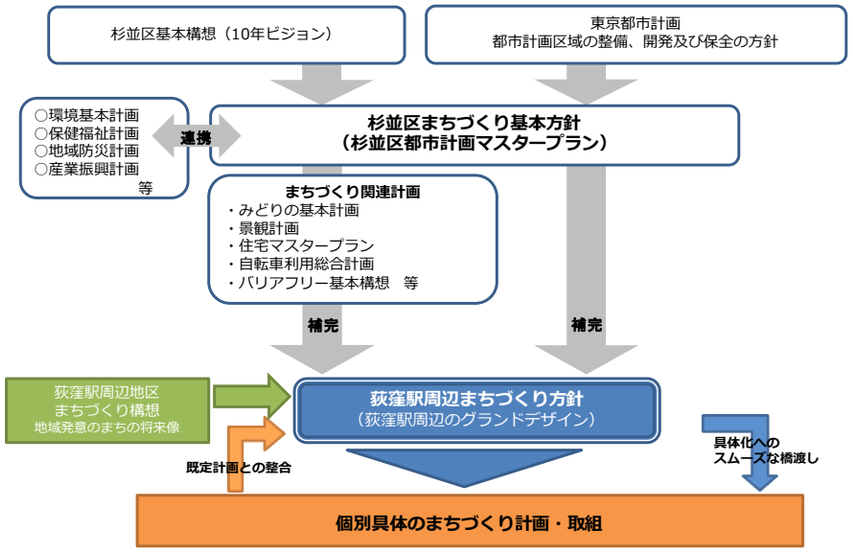
《ステップ２》　地域からのまちづくり構想の提案を踏まえ、区としてのまちづくり方針を策定

平成27年12月　「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」の提案
平成28年 3月　「荻窪駅周辺まちづくり検討会」設置
平成28年度　荻窪駅周辺まちづくり方針の策定・公表
［まちづくりの総論整理］
・まちの特長と課題
・まちの将来像・目標
・取組の方向性（テーマ別・エリア別）

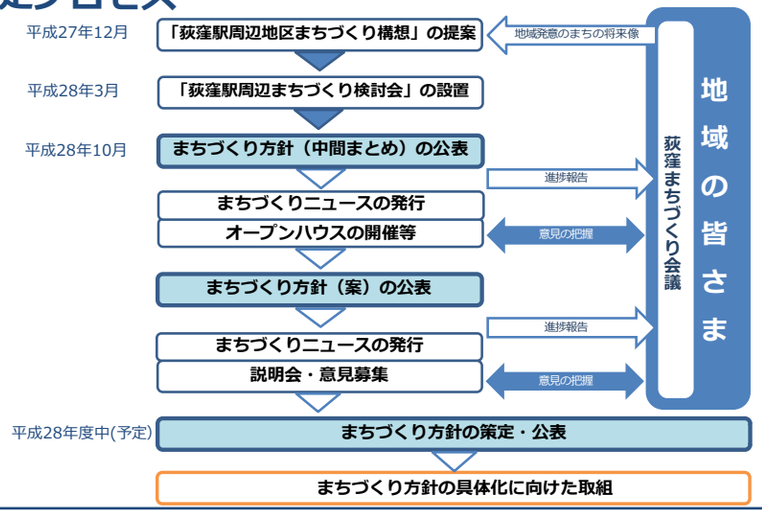
《ステップ３》　個別具体のエリアを念頭に置いた調査・検討

■位置づけ

●既定の上位計画や関連計画等を前提とするとともに、『杉並区まちづくり基本方針（杉並区都市計画マスタープラン）』を**補完**するものとして策定します。
●まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「**荻窪駅周辺のグランドデザイン**」として、区民・事業者・行政が共有するものとします。
●『杉並区まちづくり基本方針』にあわせ、**概ね20年後の未来を視野に**入れて策定します。
●個別具体のまちづくり計画や取組への**橋渡し**になるものとします。



■策定プロセス



■対象区域

荻窪駅を中心とする半径５００ｍの範囲を基本として、町丁目境や地形地物で区切った右図赤枠の範囲を対象区域とします。

●区内最大の交通結節点として、広域的な位置づけを含めて検討し、策定します。

●駅勢圏等を踏まえ、周辺地域との関係性に十分留意して策定します。

■まちの将来像・目標

将来像　　－住宅都市杉並の芯として　歴史文化を礎に　にぎわいと住環境が調和したまち－

荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積した、杉並を代表するにぎわいの中心（都市活性化拠点）です。また、歴史的・文化的資源が数多く点在し、みどり豊かな住環境が広がる、住宅都市杉並を代表するまちです。
課題である駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、防災性の向上などに、ハード・ソフトの両面から取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和し、住み続けたい、訪れたいまちを目指します。

安全安心
にぎわい活性化
暮らしやすさ文化交流

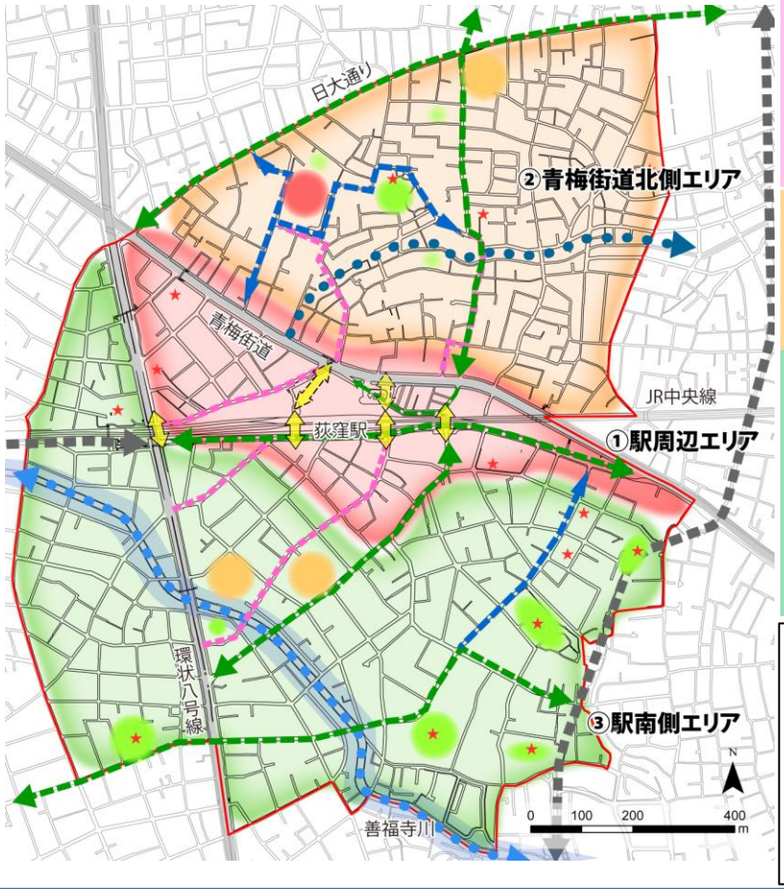
目標①　人にやさしい、歩いて楽しめるまち
駅南北の連絡機能の強化、回遊性の向上、歩行者等や自転車利用者の安全性・快適性の向上などに取り組み、人にやさしく、歩いて楽しめるまちを目指します。

目標②　災害に強く、安全で安心して暮らせるまち
首都直下地震に備え、燃えにくく倒れにくいまちづくり、狭あい道路等の整備、防災機能の充実などに取り組み、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

目標③　にぎわいと良好な住環境が調和した、生活利便性の高いまち
駅周辺の都市機能の充実、商店街等の歩行環境や買い物環境の向上などに取り組み、エリアごとの特性に応じて、にぎわいと良好な住環境が調和した、生活利便性の高いまちを目指します。

目標④　歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち
豊かなみどりや歴史的・文化的資源を生かし、良好な景観づくりや観光まちづくりなどに取り組み、住んでよし、訪れてよしのまちを目指します。

■エリア別の取組の方向性



【①駅周辺エリア】

●多様な都市機能の高度な集積により、住宅都市杉並の芯にふさわしいにぎわいの創出と魅力の向上を図ります。　≪目標①③≫

●ハード・ソフト両面からの南北連絡動線や駅前広場機能の充実により、回遊性や災害時を含む滞留機能の向上を図ります。　≪目標①②③≫

【②青梅街道北側エリア】

●木造密度の高い住宅地の防災性の向上を図るとともに、住環境とにぎわいや健康・福祉の拠点が共存し、多世代が健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。≪目標①②③≫

【③駅南側エリア】

●みどり豊かで良好な住環境や景観を保全・育成しつつ、駅から住宅地へと続く身近な商店街の維持・創出を図ります。　≪目標①③≫

●歴史的・文化的資源の集積を生かし、区民や来街者が歩いて楽しめることができるよう、住宅都市としての観光まちづくりを進めます。　≪目標①④≫

幹線道路
未整備の都市計画道路
主要生活道路
主要生活道路以外の整備路線
商店街通り
みどりと水のプロムナード軸
水とみどりの景観形成重点地区
南北連絡動線
公園
学校施設
病院
歴史的・文化的資源